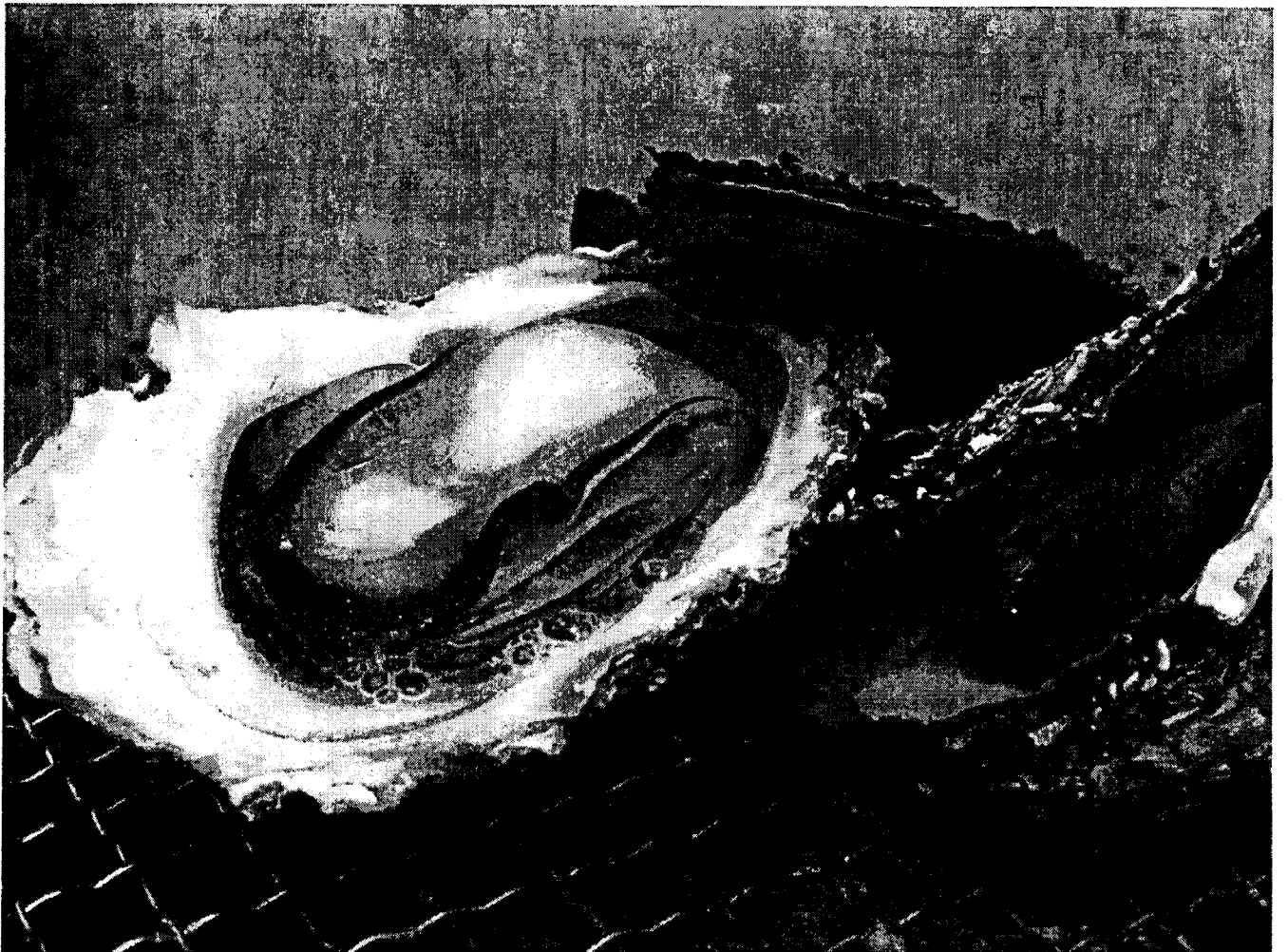
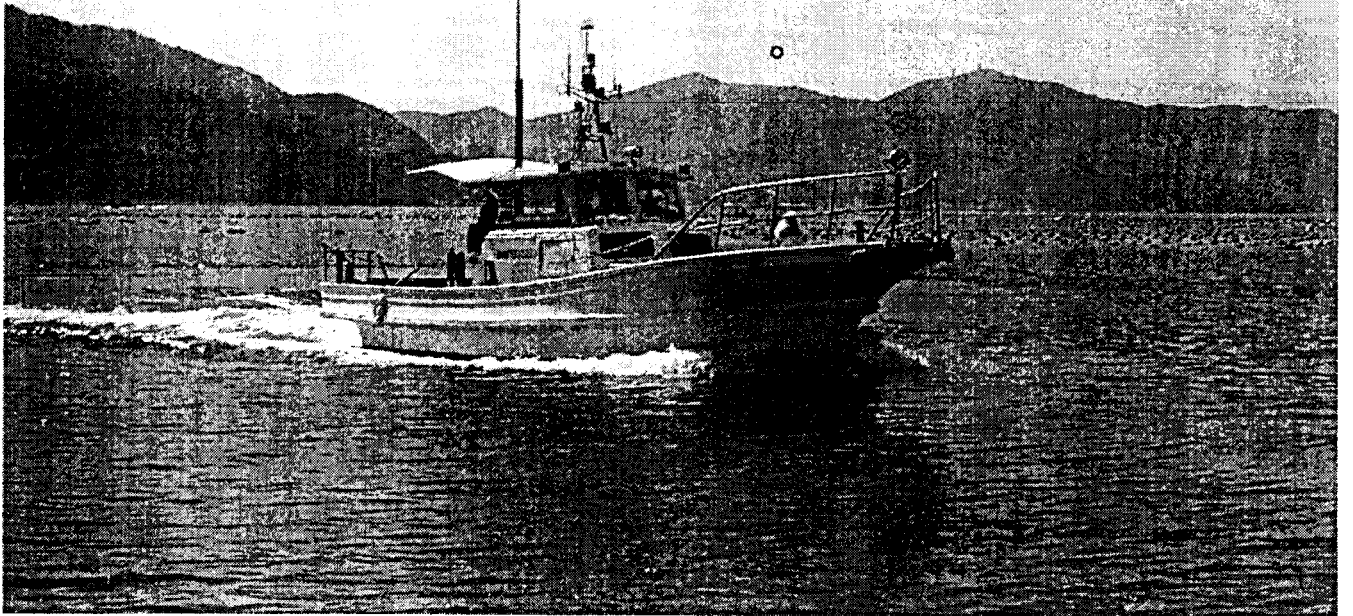


さまざまな仕事(漁、マリンツアー)

なんぐん丸



地域福祉・就労支援における 指定管理者制度活用の可能性・メリット

- ❁ 既存の公共施設を活用
- ❁ 低リスク(初期投資等)
- ❁ 当事者自身が住民サービスを担う
 - ❁ 社会参加の推進
- ❁ 官民協働
- ❁ 多種多様な施設がすべての地域に
地域特性を活かし全国で展開可能

当法人への指定管理 愛南町のメリット

- ❁ 設置目的(観光福祉施設)に合致。
- ❁ 住民・議会からの評価や賛同が得やすい。
福祉でまちづくりを実現。
- ❁ 組織・財政基盤が脆弱なNPOの財源が確保
され安定した運営に(地域資源の充実)。
- ❁ 就労支援により、人員増加(雇用の拡大)、
組織活動原資の増加を期待。
- ❁ 地域福祉の向上、知名度向上等の地域活性化
が期待でき、税金の効率的・効果的な運用
へつながる。

課題～選考と3ヶ月の実践から

- ❁ 選考されるかどうか。
- ❁ 住民サービスの向上とコストダウンという制度本来の目的を達成することが不可欠。
一般民間企業を越える経営力が求められる可能性あり。
- ❁ 日々、課題が浮き彫りになってきている。

平成19年度障害者自立支援調査研究プロジェクトで課題と方法を明確化へ

愛南町の課題と不安

- ❁ 一定の利潤を追求しながら公共性を維持する必要があるため、経営破綻などリスクヘッジ・マネジメントが必要。
- ❁ 顧客志向に十分対応ができるか不安。
- ❁ 施設メンテナンス、安全管理
- ❁ 指定管理料の柔軟な予算措置が取れない
- ❁ 他地域で活用する場合、選考基準の問題（社会的目的重視か、コスト重視か...）

まとめ

- ❁ 過疎高齢化・産業低迷地域で、住民(多職種、当事者)が協働して、地域の課題解決を担い、振興につなげるという方向性のもと、自立支援法・指定管理者制度を活用した就労支援モデルの基盤を確立。
 - ❁ 現在の職員数 24名
 - ❁ 地域に15名の新たな雇用。10名(就労継続A:精神5名、知的4名、身体1名)、1名ピアスタッフ、4名住民。
- ❁ 住民ネットワークの重要性を再認識。

願いを込めて(笑)→



是非、愛南町へ

<http://www.nangun.org/index.html>